

# 採点基準・評価の観点等

学科・専攻	試験科目	主な採点基準/合格最低条件(学力試験)
芸術学部 芸術学科 音楽領域	実技、表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>読解(読譜)力=内容を正しく理解しているか</li> <li>基礎力=基礎的な技術が身についているか</li> <li>アピール力=相手に対し、しっかりと伝えられているか</li> <li>習熟度=完成度の高いものになっているか</li> </ul>
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の理解力=課題を適切に理解して記述されているか</li> <li>芸術への志向性=志望コースの専門性への基礎的な理解と高い意欲を持ち合わせているか</li> <li>基礎的な学力=段落や文字の間違いがなく、文章の構成が整っているか</li> <li>自分の意見の表現力=自分自身の考えが十分述べられているか</li> </ul>
	楽典	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎力=基本的な知識(音程・音名・音階・調性・和音)をしっかりと理解(習得)しているか</li> </ul>
	作品提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成力=オリジナリティにあふれた個性的な作品になっているか</li> <li>完成度=基本をしっかりと押さえた魅力ある作品になっているか</li> </ul>
芸術学部 芸術学科 舞台芸術領域	小論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の理解力</li> <li>論理的および批判的思考力</li> <li>独自性=自分なりの考えが十分に述べられているか</li> <li>基礎学力=語彙力、文章力等において基礎的な力を身に付けているか</li> <li>舞台芸術全般に対する興味関心</li> </ul>
	集団ディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション力=人の話を聞いたり自分の考えを話すことができるか、疑問点を質問することができるか</li> <li>論理性=話題を建設的に発展させたり、深めたりできるか</li> <li>リーダーシップ=様々な意見をまとめることができるか</li> <li>チームワーク=相手に賛同したり、異なる意見を尊重できるか</li> <li>舞台芸術理解=舞台芸術に対する基本的な理解をしているか</li> </ul>
	基礎力検査(英数国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験者の平均点1/3に達しなかった場合は不合格とする(上回っていた場合は上位者から選抜)</li> </ul>
	英語適性検査	
	英語	
	数学	
国語		
芸術学部 芸術学科 美術領域	考え方の表現テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力=出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>完成度=制作された作品は説得力のある内容であるか</li> <li>表現力=自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか</li> <li>独創性=独自の視点、感覚を持っているか</li> </ul>
	自己持参作品によるプレゼンテーション、持参作品、作品写真ファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成度=持参作品や作品写真ファイル(ポートフォリオ)が、説得力のある内容であるか</li> <li>表現力=自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか</li> <li>美術に対する気持ちは入学後の学習意欲や作品制作に対する熱意を備えているか</li> </ul>
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の理解力=課題を適切に理解して記述されているか</li> <li>文章の基礎力=誤字脱字、論文の構成は整っているか</li> <li>表現力=自分なりの考えが十分に述べられているか</li> <li>美術に対する気持ちは美術を学ぶための意欲や関心を備えているか</li> </ul>
	実技(水彩、油彩、デッサン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力=出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>観察力・描写力=形、光、色、立体感、質感等を描写するために必要な技術があるか</li> <li>表現力・構成力=空間への意識を持ち、モチーフを効果的に構成する基礎的な表現力があるか</li> </ul>
	基礎力検査(英数国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか(選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)</li> </ul>
	英語	
数学		
国語		

学科・専攻	試験科目	主な採点基準/合格最低条件(学力試験)
芸術学部 芸術学科 デザイン領域	考え方の表現テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>完成度＝制作された作品は説得力のある内容であるか</li> <li>表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか</li> <li>独創性＝独自の視点、感覚を持っているか</li> </ul>
	自己持参作品によるプレゼンテーション、持参作品、作品写真ファイル、自己表現力テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成度＝持参作品(ポートフォリオ)の完成が高く、説得力のある内容であるか</li> <li>表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか</li> <li>独創性＝独自の視点、感覚を持っているか</li> </ul>
	色彩構成テスト 立体構成テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>完成度＝制作された作品は説得力のある内容であるか</li> <li>表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか</li> <li>独創性＝独自の視点、感覚を持っているか</li> </ul>
	構想表現テスト (先端メディア表現コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>構想力＝制作された作品は説得力ある内容であるか</li> <li>独創性＝独自の視点、感覚を持っているか</li> </ul>
	文章表現テスト (文芸・ライティングコース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>表現力＝柔軟な発想で文章表現ができているか</li> <li>完成度＝誤字脱字はないか。文章全体がまとまっているか</li> </ul>
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか</li> <li>論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか</li> <li>基礎的な学力＝段落や文字の間違いはないか</li> <li>表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか</li> <li>デザインのセンス＝デザイン領域で学ぶための意欲や関心を備えているか</li> </ul>
	実技(鉛筆デッサン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>観察力・描写力＝構図、形、動き、光、量感等を描写することに必要な技術が優れているか</li> <li>構成力・発想力＝モチーフをユニークに配置し、モチーフと空間になる余白との関係をバランス良く捉えられているか</li> </ul>
	基礎力検査(英数国)	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域内の受験者全員の平均点の1/3以上に達しているか (選抜対象者の得点が平均点を上回っていた場合は、上位者から選抜するものとする)</li> </ul>
	英語	
数学		
国語		
基礎能力テスト (3年次編入学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解力＝出題内容を的確に把握・理解しているか</li> <li>完成度＝制作された作品は説得力のある内容であるか</li> <li>表現力＝自由な発想でアイデアを効果的に表現できているか</li> <li>独創性＝独自の視点、感覚を持っているか</li> </ul>	
芸術学部 芸術学科 芸術教養領域	小文記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問を理解して答えているか</li> <li>日本語として分かりやすく正しい表現になっているか</li> <li>答えの内容がアドミッションポリシーに基づいており、かつ独創的で興味深いか</li> </ul>
	小論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問を理解して答えているか</li> <li>日本語として分かりやすく正しい表現になっているか</li> <li>答えの内容がアドミッションポリシーに基づいており、かつ独創的で興味深いか</li> </ul>
	英語適性検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該科目受験者の平均点の1/2に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)</li> </ul>
	基礎力検査(英数国)	
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>合否判定科目のうち、当該科目受験者の平均点に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)</li> </ul>
	数学	
国語		

学科・専攻	試験科目	主な採点基準/合格最低条件(学力試験)
人間発達学部 子ども発達学科	小論文	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 課題の理解力＝課題を適切に理解して記述されているか</li> <li>• 論文構成の基礎力＝論文の構成は整っているか</li> <li>• 基礎的な学力＝段落や文字の間違いはないか</li> <li>• 自分の意見の表現力＝自分なりの考えが十分に述べられているか</li> <li>• 教育・保育のセンス＝教育者・保育者になるための意欲や関心を備えているか</li> </ul>
	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 表現の技術・能力＝技術的に難しかったところはどこか理解できているか</li> <li>• 意欲・積極性＝積極的に表現しようとする意欲があったか</li> <li>• 表現に関する創意工夫＝創意工夫をしたところが表れているか</li> <li>• 芸術的な感性＝芸術的な感性を一番要求される場所はどこか理解できているか</li> <li>• 教育・保育のセンス＝教育・保育に自分の技能・表現力をどのように還元しようとしているか</li> </ul>
	英語適性検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受験者の平均点1/3に達しなかった場合は不合格とする (上回っていた場合は上位者から選抜)</li> </ul>
	基礎力検査(英数国)	
	英語	
	数学	
国語		

特別選抜 高大接続型 「超領域」入学試験	レポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>①理解力、観察力:識者によるレクチャーの内容、および対象施設で観察した事物をよく理解しているか</li> <li>②問題発見力、独創性:①のレクチャー内容や観察結果をふまえた上で、受験者独自の視点から問題の発見ができるか</li> <li>③問題解決力、論理性:②で発見した問題点に対して論理的で明確な解決策を提示できるか</li> <li>④国語力:①②③を適切な日本語(語彙、文法)で論理的な構造(段落のつけ方、話の順序)を持つ文章を作成できるか</li> </ul>
	面接・プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>①質問理解力:面接担当者の質問内容を理解しているか</li> <li>②口頭表現力:質問に対する口頭返答が日本語として分かりやすく正しい表現になっているか</li> <li>③「超領域」入試に対する理解度:答えの内容が、本学の教育理念に基づいたアドミッションポリシー、「超領域」入試のねらいを理解したものであるか(目的意識、計画性、自己分析力も含む)</li> <li>④プレゼンテーション力:口頭、その他の表現手段を用い、自らが感じたこと、考えたことを的確に伝えられているか</li> </ul>
	合格基準	合計で60%以上の得点を要する

## 入学前教育

名古屋芸術大学では各入試での合格者に対し、入学手続から入学までの期間を有意義に過ごしていただき、新たな大学での生活に対する不安の解消および入学後に専攻する分野の基礎等を学び体験することで、大学の学びへ円滑に移行できるようにすることを目的として、入学前教育を実施します。

学部 学科	領域	入学前教育プログラム内容
芸術学部 芸術学科	音楽領域	専攻コースの特性に関連した課題に打ち込むことで、スムーズに授業へ対応できる状態を目指すことを目的として、パフォーマンス課題(演奏・実技・パフォーマンス・作品制作の課題を記録して提出)およびレポート課題(所定の映像や公演・コンサートを鑑賞し、レポートにまとめて提出)のうち専攻コース毎に指定する課題内容2つに取り組む。
	舞台芸術領域	推敲・添削を重ね、1つの原稿を仕上げることで自信を持ち、社会的な視点を身につけることを目的として、領域が指定する本、映画、舞台および美術展から1つを選択のうえ、①批評文、②紹介文、③宣伝記事のいずれか1つの原稿を作成し、提出後、添削と修正を月1回のペースで繰り返し、原稿を完成させる。(※入学後の成績に反映されるものではありません)
	美術領域	専攻コースにおける学びの基礎を体験し、入学までの期間を有効に過ごしてもらうため、11月から3月の期間において最大5回のスクーリングまたは在宅課題による作品制作、展覧会等見学およびレポート提出を実施する。
	デザイン領域	専攻コースにおける基礎的な学びを体験し、新たな大学での生活を不安なくスタートできるよう、近い将来の自分の姿を思い描くため、11月から3月の期間において最大5回のスクーリングまたは在宅課題による作品制作、展覧会等見学およびレポート提出を実施する。
	芸術教養領域	入学前教育により、入学までの課題克服に取り組み、不安が解消された状態で入学を迎えることを目的として、11月から3月までの期間において最大5回のスクーリング(ワークショップや個別面談)または在宅課題(小論文を書いて郵送)を実施する。
人間発達学部 子ども発達学科		芸術や保育・教育・子どもの発達に関する知識、関心を深めることを目的として、11月から3月の期間において、(1)指定する本(①保育・教育に関する書籍、②ジャンルを問わず興味を持った単行本)を読んでレポート提出、(2)保育・教育・子どもに関する新聞記事スクラップ(2~6回)、(3)子ども(3歳児から小学生)とともに楽しめる活動を1つ調べ、発表する準備、(4)指定するイベントの鑑賞と感想文提出を行う。(※課題は入学後に発表を行っていただきます)

※スクーリングは欠席されても、入学にあたって不利益等は一切ありません。

※課題内容は変更される場合があります。詳しい内容は合格者に通知します。